

説明書

治療・検査の名称	精巣固定術（左・右・両側）
----------	---------------

説明項目

1. 診断名（病気の名前と進行度）

停留精巣

2. 病気の説明（どこに、なにがおきてどうなっているのか）

精巣が本来の下降経路の途中で停留して陰嚢内に降りていない状態

3. 目的および必要性（なぜこの方法が提案されたのか）

妊孕性の改善と悪性化の予防のため

4. 方法（なにをどうするのか）

単径部を切開して精巣と精索を確認し鞘状突起(腹膜の一部)を精巣動静脈と輸精管より剥離して横断し高位結紮を行います。精巣が陰嚢に届くように十分な長さとなるよう精巣動静脈、輸精管を後腹膜や周囲組織を剥離したのち陰嚢に作成した皮下ポケット内に収納し固定します

5. 受けた場合の予想される経過（期待されること）

術後は翌日に退院となります。

妊孕性の改善、悪性化の予防、整容性の改善が期待できます

6. 危険性および起こりうる合併症について（心配されることや副作用）

出血、感染、精巣動静脈損傷、輸精管損傷、再挙上、陰嚢腫大などが生じます

7. 合併症発生時の対処について

院内の方針に準じます

8. 受けない場合の予測される経過、代替手段（他の治療法）

不妊症や悪性化が生じる可能性が高いと言われていますがエビデンスはありません

9. 説明内容の理解と自由意思による同意承諾およびその取り消しについて

いったん同意をされた場合でも、いつでも撤回することができます。やめる場合は、その旨を担当者へ連絡してください。

この手術に同意されるかどうかは、患者様の意思が尊重されます。同意されない場合でも、不利益を受けることはありません。

現在の患者様の病状や治療方針について、他の専門医の意見を聞くことも可能です(セカン

ドオピニオン)。その際は、ご相談ください。必要な資料をご提供いたします

10. 緊急時等

速やかに対応します

11. その他

術後創の痛みは麻酔科と協力して、改善に最善を尽くします

術者： _____

説明者

説明日： 年 月 日 施行予定日： 年 月 日

診療科名： _____ 説明医師氏名（自著署名）： _____